

“役員報酬ゼロの「もうひとりの社長」”もAIで
AIを組織的に活用して、成果を掛け算で増やす

2025年
12月22日発行

経営者のための

生成AI組織的活用の教科書

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は小山昇 著『経営者のための生成AI組織的活用の教科書』を2025年12月22日(月)に刊行いたします。

属人化解消・ミスゼロ・質とスピードを高める生成AI活用

生成AIを組織的に活用することで、属人化の解消やミスの抑制、業務時間の短縮に加え、人材の定着や意思決定の精度・スピード向上など、複数の成果を同時に広げていくことが可能になります。

本書では、著者の小山昇氏が、自身の経営思考を学習させたAI「AI小山さん」を導入した実践を起点に、**社員の業務サポートや判断支援、社内文化の共有など、生成AIが経営と現場を横断して機能する具体例**を紹介します。

資料作成や業務自動化、データ分析といった定番の使い方だけでなく、営業、テレアポ、教育、さらには社長AIまで、1つの成果を10倍、100倍へと展開していく生成AIの組織的活用法を解説。人手不足が進む中、中小企業が現実的に取り組めるAI活用の道筋を示します。

タイトル: 経営者のための生成AI組織的活用の教科書

著者: 小山昇 ページ数: 220ページ 価格: 2,420円(10%税込)
発行日: 2025年12月22日 ISBN: 9784-86667-805-4

【目次】

- CHAPTER 1 ■ AI導入で中小企業が得られるもの
- CHAPTER 2 ■ AIを社内に定着させる仕組み
- CHAPTER 3 ■ AIを「自社専用」に育てる方法
- CHAPTER 4 ■ AIが変える現場の常識
- CHAPTER 5 ■ [事例]AIの組織的活用法

【著者プロフィール】 小山昇(こやま・のぼる)



株式会社武蔵野代表取締役社長

1948年、山梨生まれ。東京経済大学卒業後、1976年に日本サービスマーチャンダイザー(現・武蔵野)に入社。一時期、独立して自身の会社を経営していたが、1987年に株式会社武蔵野に復帰し、1989年より社長に就任。赤字続きだった武蔵野を増収増益、売上75億円(社長就任時の10倍)を超える優良企業に育てる。2001年から同社の経営の仕組みを紹介する「経営サポート事業」を展開。現在、700社超の会員企業をサポートし、400社が過去最高益となっているほか、全国の経営者向けに年間240回以上の講演・セミナーを開催している。1999年「電子メッセージング協議会会長賞」、2001年度「経済産業大臣賞」、2004年度、経済産業省が推進する

「IT経営百選最優秀賞」をそれぞれ受賞。2000年度、2010年度には日本で初めて「日本経営品質賞」を2回受賞。2023年「DX認定制度」認定。2025年3月、健康経営への取り組みが評価され、健康経営優良法人「ホワイト500」に認定。『1%の社長しか知らない銀行とお金の話』『成長する会社の朝礼』『人が輝く経営のすごい仕組み』『生成AIでわかった経営者のための人財定着術』(あさ出版)、『会社を絶対潰さない 組織の強化書』(KADOKAWA)、『儲かる会社』の心理的安全性』(SBクリエイティブ)、『改訂3版 仕事ができる人の心得』(CCCメディアハウス)など著書多数。



一般的に、どの会社も社長はひとりです。しかし、私が代表取締役を務める株式会社武蔵野には、社長が2人います。

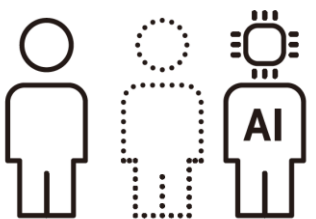
ひとは私、小山昇。そして、もうひとは「AI小山さん」です。「AI小山さん」は、経営者としての私の考え方を学習させた人工知能です。拙著や講演録、社内資料、日々の発言メモなど——約600メガバイト(書籍1冊10万文字として約100～200冊分の情報量)の「小山昇の情報」を学び、私が大切にしてきた判断軸や言葉づかいまで再現します。

社員はいつでもこのAIに問いかけ、「この場合、小山昇ならどう考えるか」を確認できます。言い換えれば、武蔵野の「もうひとりの社長」です。

彼は、24時間365日働き、疲れ知らずで、勉強熱心。武蔵野のバックヤードツアー(当社のさまざまな仕組みを実際に現地地で学べる見学会)で出た質問に小山が答えたことを学習し、アップデートを続けています。それでいて役員報酬はゼロです。

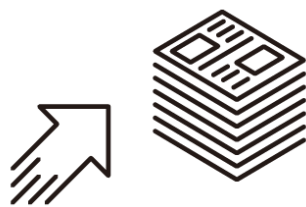
中小企業こそAI化が必要な理由

① 人材不足の加速



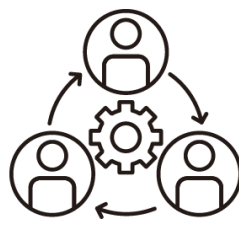
人間に代わりAIが生産性を上げる手段になる

② 情報の量とスピードの変化



AIの活用で膨大な情報量を即座に整理できる

③ 社員教育の再現性



AIで社員教育を仕組み化し指導のばらつきがなくなる

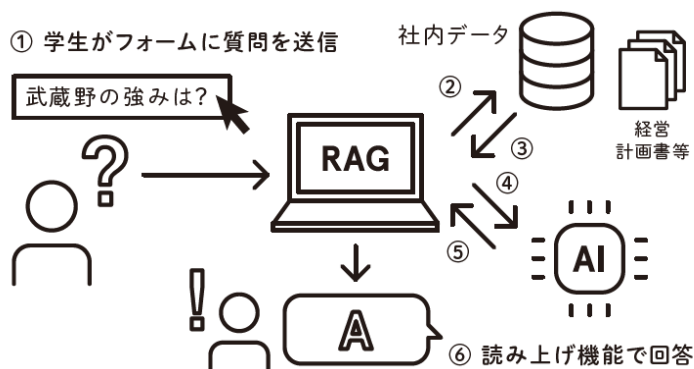
④ スピード経営への転換



市場や顧客の変化のスピードにAIで対応できる

AIが変える現場の常識

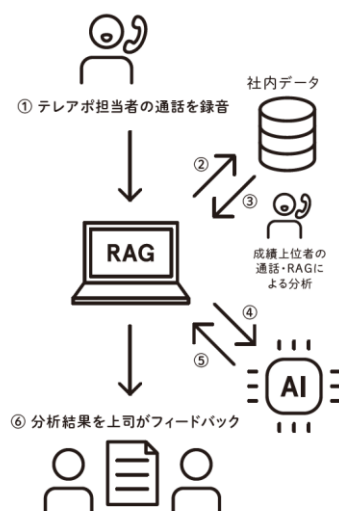
AIによる質疑応答の仕組み



【メリット】

- ☐ 誤った情報を伝えるリスクを軽減
- ☐ 採用担当者の負担軽減
- ☐ AIを活用している先進的な会社のイメージをアピール

テレアポノウハウ共有化の仕組み



【メリット】

- ☐ 担当者のモチベーション・スキルアップ
- ☐ テレアポスキルの平準化が進む
- ☐ アポイント件数増、生産性向上によるコスト削減